

教科(科目)	情報（情報Ⅰ）	単位数	2	学年(コース)	1 学年
使用教科書	実教出版 「最新情報Ⅰ」				
副教材等					

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ (1) 自ら考え、判断し、行動する力、生涯をとおして主体的に学び続ける人材を育成します。 (2) 他者や周囲を尊重し、多様な人々と協調して社会に貢献する力を持つ人材を育成します。 (3) 豊かな感性を備え、社会の一員としてのルールやマナーを大切にす人材を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ (1) 生涯を通じて学ぶために、基礎的・基本的な知識・技能の習得などの確かな学力の育成に重点をおき、全ての教科・科目において基礎学力の確実な定着を図ります。 (2) 地域と連携しながら、多様な職業や進路について学び体験する機会を設定し、主体的に進路目標を設定して、その実現に向けて粘り強く取り組む活動を推進します。 (3) 計画的なキャリア教育により、生徒一人ひとりが自己の在り方、生き方を考える機会を提供し、望ましい勤労観や職業観と積極的に進路選択する能力を育成します。

2 学習目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3 指導の重点

就職希望が多く、進学者も資格の取得に関連した専門学校へ進学する生徒も多いことから、 ① コンピュータに触れる機会を増やし、社会人に必要となる基礎的・基本的な入力技術と、操作技術を確実に習得します。 ② 本校独自の科目「自分デザイン」の地域と連携した関わりに必要な、効果的なコミュニケーションの実現に向け、調査したデータの活用、及び問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用・発信する力を養います。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

5 評価方法

評価は次の観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・演習や課題で作成された提出物の確認 ・他の生徒の発表や演習を通して得られた活用方法を、自己に活用できているかの確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言や発表への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容確認 ・学期ごとの振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言や、発表への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容確認 ・学期ごとの振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。
内容のまとめりに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

6 学習計画

学期	単元名 <教材名>	学習活動(指導内容) <主な領域>	授業時数	評価方法	
1 学期	第1章 情報社会と私たち			プリントの記述状況を確認 小テスト	
	1	情報社会	情報社会と情報, 情報の特性		2
			情報のモラルと個人に及ぼす影響		2
	2	情報社会の法規と権利	知的財産, 情報の利用と公開, 個人情報の保護と管理		2
	3	情報技術が築く新しい社会	社会の中の情報システム, 情報技術と課題解決		3
		第2章 メディアとデザイン			プリントの記述状況を確認 小テスト 印刷物
	1	メディアとコミュニケーション	メディアの発達, 特性, コミュニケーションの形態	3	
			インターネットのコミュニケーション	3	
	2	情報デザイン	社会の中の情報デザイン, 情報デザインの工夫	3	
	3	情報デザインの実践	文書の作成, プレゼンテーション	3	
	1学期期末考査		1	記入の分析	
2 学期	第3章 システムとデジタル化			プリントの記述状況を確認 小テスト	
	1	情報システムの構成	コンピュータの構成と動作		2
			ソフトウェアとインターフェース		3
	2	情報のデジタル化	アナログとデジタル, 進数と情報量		2
			演算の仕組み, 数値と文字の表現		2
			数値の計算, 音声の表現		3
			静止画と動画の表現, 情報のデータ量	3	
		第4章 ネットワークとセキュリティ			プリントの記述状況を確認 小テスト
	1	情報通信ネットワーク	ネットワークの構成, 情報通信の取り決め	2	
			Webページとメールの仕組み, 転送速度とデータ圧縮	3	
2	情報セキュリティ	脅威に対する安全対策, 情報セキュリティの確保	3		
		安全のための情報技術	2		
	第5章 問題解決とその方法			プリントの記述状況を確認	
1	問題解決	発見, 明確化, 解決案の検討, 決定, 実施と評価	3		
	2学期期末考査		1	記入の分析	
3 学期	2	データの活用	データの収集と整理, 分析と表計算	2	プリントの記述状況を確認 小テスト
			データの可視化, データ分析の手法	2	
	3	モデル化	モデル化とシミュレーション	2	
			モデルの分類, モデル化の手順, 手法, 注意	2	
	4	シミュレーション	シミュレーションの実際, モンテカルロ法	2	
			モデル化とシミュレーションによる問題解決	2	
		第6章 アルゴリズムとプログラミング			プリントの記述状況を確認
	1	プログラミングの方法	アルゴリズムとその表記, プログラミング言語	3	
2	プログラミングの実践	プログラミングの方法, 関数を使用したプログラム	3		
	学年末考査		1	記入の分析	

計 70 時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

- ・ 授業で説明した内容は、基本的に授業ごとに配布するプリントに記入し、その記入状況を確認します。
- ・ 単元ごとに小テストを行います。
- ・ 学期ごとの成績に反映させるため、プリントを綴じ込んでいるファイルの提出をしてもらいます。

8 授業担当者からの一言

中学校の「技術・家庭」で学習した内容とは違い、より専門的な知識や技能を習得します。「数学」や「外国語」と並び、大学の試験でも科目に位置づけられた教科です。また、本校では就職希望や、専門技術の資格取得を目的とした専門学校への進学が多いため、社会人に必要な最低限の入力技術や処理能力も学習をしていきます。